三島小理科レポート

2014年度　No,232
四国中央市立三島小学校
田中正史

590　4年「これは食べられますか？」11月6日

４年１組。金曜日の研究授業が終わった直後。

「先生！探検の森で赤い実を見つけた。何ですか？」

「なんだろうね。」

「先生！探検の森で赤紫のブドウみたいなのがありました。何ですか？」

「それはヤマブドウだろうね。」

「先生！探検の森で紫色の実を見つけました。食べることできますか？」

「それはヤマブドウだろう。おいしくないよ。」

なんで同じ事を別々に聞くのかな？

最後にＡさんも。

「先生！探検の森で赤紫の実を見つけました。何ですか？」

「ヤマブドウだと思うよ。」

「食べることできますか？」

「食べられると思うけど。」

「食べたらダメですか？」

「やめておきましょう。」

「一粒でも？」

「うーん。食べて、ペッと出しなさい。」

「ペッと出します！」

「でも、私がヤマブドウと確認してからだよ。」

「はい！」

1cmくらいの大きさ

こんなのも渡されました。
「食べることできますか？」
一粒かみました。味はありません。

土曜日、仕事をしに来たついでに、探検の森で探しました。Ｂさん、あいさつありがとう。

１本だけ見つけました。やはりヤマブドウ。３日前に、娘とヤマブドウの話をしました。

「ヤマブドウはね、ヤマゴボウとも言うんだって。」「へぇ～、知らなかった。」

「実は甘いよ。」「えっ！食べたの？」

ということを思い出して、一粒、口に入れてかみました。

わずかに甘みが・・・・・あるのかなぁ？という味でした。まだ熟していなかったのかも。

Ａさん。食べるのはやめて、色水遊びに使いましょう。

小さい黄色い種が入ったムラサキ色の実も質問がありました。これは不味かったです。